

つづろん推進NEWS

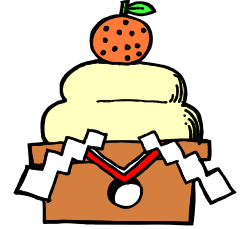
No. 3

H22年1月

～計画推進ニュース～

年が明け、寅年になりました。

今までの積み重ねを大切に、張り子の**虎**になってしまわないよう、**虎**視眈々とチャンスをみきわめ、力を合わせてがんばり**タイガー**！
というわけで、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



プロジェクトチーム代表者会を開催しました！

12/9（水）17:30～19:30

プロジェクトチーム・セーフティネット委員会の世話人、事務局プロジェクトチームあわせて16名が参加し、それぞれの進捗状況や、ほかのチームや事務局への相談・提案事項などを話し合いました。

中でも事務局からの報告にあった「こんな・こんなカード」についての各委員からの関心が高く、様々な場面で活用することの提案などをいただきました。

またセーフティネット委員会とプロジェクトチームのすみわけや協力しあう部分の確認や、お互いがやっていることへのアドバイスなども飛び交いました。

～事務局研修班企画～ 「お互いの仕事を知ろう研修」 H21.12.4 21名参加

社協事務局の各セクションが連携をとるためにも、お互いの仕事をもう少し知っておく必要があるとの職員からの多くの声を受けて、研修班の企画で座談会形式の研修を行いました。

職員の要望をとりまとめ、

①デイサービスの特色 ②ボランティア

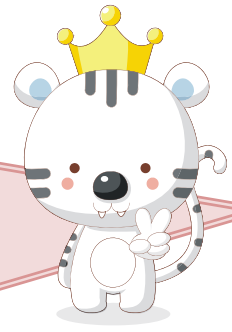
③介護保険外の介護サービス、④認知症関連事業

の4つの講座を設けました。具体的な内容がとても好評

だったので、業務の都合で参加できなかった職員のために2月にもう一度改善を加えた内容で実施する予定です。



～各プロジェクトチームからの進捗状況レポート～



【福祉教育推進プロジェクトチーム】

2月26日の福祉教育セミナーの準備をおこない、社会福祉協議会の認知度UPのためのPR時間を設けるなど、中身について話し合いました。代表者会でできた「こんな・こんなカード」についても、有効活用ができないかで話が盛り上がりました。また、学校の職員研修ではネタに困っているという情報もあり、今後のプロジェクト企画として何か提案できないか考えていきます。

【三好】

【相談窓口プロジェクトチーム】

月に一度、夕方6時からの会議。真冬の夜はとても寒いのですが、会議中は“昭和三十九年の福祉を推進したい”と熱気に溢れ暑い?くらいです。窓口の名称を「こころんお助けコーナー」と決め、まずはやってみようと動き始めておりますが、試行錯誤の日々が続いております。

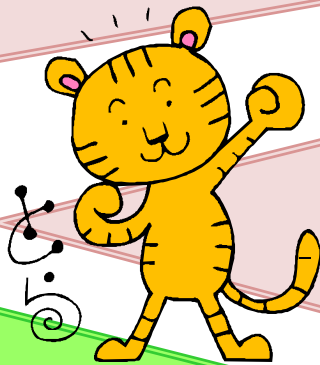
(産みの苦しみ中)

【河島】

【情報冊子作成プロジェクトチーム】

引き続き情報冊子作りの準備として困りごとの情報収集作業に取り組んでいます。また今後は“誰もが誰かの力になれる”という関係作りを意識し、困りごとだけでなく“できること”にも目を向け、様々な団体・個人の方々に情報収集へのご協力をお願いしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【堀井】



【セーフティネット委員会】

困りごとの項目に対応する相談先を確認していく作業を進めているところです。

現在のところ、「高齢者分野」がひとまず終わり、「障がい者(児)分野」の途中ですが、「児童・子育て・女性分野」までさらに作業は続きます。

【佐藤】

～5つの班と

事務局プロジェクト

チーム～

<社協 PR・環境整備班>

仕事で出るごみについて、個人情報に配慮しつつ低コストで確実な捨て方を検討。また、ごみ当番のルールも明記、職場内に協力を呼びかけます。PRについては、建物外看板や「こころん」マスコットの有効利用を考えています。手作り「こころん」をコミセンの窓口におかせてもらったか？という意見も。かわいい「こころん」が、昭和区のあちこちで見られるようになるといいですね。

(介護支援専門員：富田)

進捗状況
レポート

<マナーアップ班>

電話対応のスローガンは、

- ①お客様との電話中はお静かに
 - ②電話連絡は要点をまとめて手短かに
 - ③担当部署に早く回そう、早く出よう！
- となっており、今も実践中です。

また、受付カウンターにおける接客について、失礼のないようにしていきたいと考えております。【副所長 佐藤】

<ネットワーク班>

「こんなこんなボード」から要望の高かった囲碁や将棋のできる方を募集することになりました！

昭和区在住で囲碁や将棋の大好きな方をご紹介ください。身近なこんな所で囲碁や将棋ができるよという、情報もお待ちしています。また、現在進行中のゴミ出しボラさんの意味や役割についても今後さらに深めていけるように検討中です。

(介護支援専門員 植田)

<研修班>

昭和区社協職員研修「お互いの仕事を知ろう！」の第1回目が終わり、第2回目の開催準備をしています。1回目は参加者21人で、そのうち90%の人がアンケートで“良かった”と答えています。(残りの10%は“普通”。)2回目は時間帯を午後5時からとして、前回参加できなかった職員に参加しやすくします。内容的にも前回の経験を取り入れ、“100%の良かった”を目指したいと思えます。

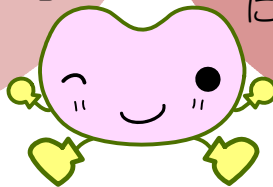
【次長 加藤】

<情報共有・コミュニケーション班>

昭和区掌握ボードに日ごろの業務で仕入れてきた地域の情報などをたくさんお寄せ下さい。まだまだ、地域の情報が不足していますので、皆様からの情報でボードをいっぱいにしていききたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

また、掲載された情報はぜひ日ごろの業務にお役立ていただければと思います。

【サービス提供責任者 久野】



<事務局プロジェクトチーム>

12月9日(木)に「推進プロジェクトチーム代表者会」を開催しました。各プロジェクトチームの代表世話人さんを委員にお迎えし、今回も原田正樹先生にご指導いただきながら、各プロジェクトチームの進捗状況を発表し意見交換を行いました。各プロジェクトチーム共、それぞれの課題について順調に取り組んでいることが確認されました。また、委員の皆さんに事務局プロジェクトの活動にも高い関心をお寄せいただくことができました。推進プロジェクトチーム代表者会を経て、各プロジェクトの活動が一層活性化することを期待したいと思います。 【次長 加藤】

経過報告(H21.12~H22.1)

★計画のPRをしました★

●名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進実践発表会での発表

「全職員 38 名でとりくむ昭和区方式「総合支援型社協」への挑戦」 谷口・野川

★話し合いました★

- 福祉教育推進プロジェクトチーム 12/14
- たまり場プロジェクトチーム 12/21・1/21
- 相談窓口プロジェクトチーム 12/10・1/26
- セーフティネット委員会・作業部会 12/7・1/18
- 事務局プロジェクトチーム 12/10・1/26
 - ・社協 PR・環境整備班 1/22
 - ・研修班 1/8
 - ・ネットワーク班 1/15
- ◎プロジェクトチーム代表者会 12/9
- ◎こころんねっと新春対談 1/6 区長・総務課長・原田先生・事務局長 (詳細は特別号)



～「誰もが誰かの力になれる」 イイ話②～

～書道の達人～

昭和区社協のデイサービスの人気者 T さんは82歳になられる今も書道を習い続けていらっしゃる。お得意の書道を活かして、デイサービスの仲間の誕生日カードにはいつも達筆な T さんの字が花を添えます。

今回は、赤い羽根共同募金の児童生徒作品コンクール受賞者の賞状も一部書いていただき、区内の小学生のもとに届けられました。

T さんは年中、大活躍です！



おすすめ図書

日本福祉大学

准教授 原田正樹氏 著

「共に生きること 共に学びあうこと」



本計画でも重点項目としてあがっている学校や地域での福祉教育について、初心者にもわかりやすく、まるで先生の話を聞いているかのように理解することができます。

お求めになりたい方は大学図書出版まで

TEL 03-5225-0238

(A5版 103頁 定価1050円)

